

日本モンゴル学会 2025 年度春季大会案内

春暖の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。さて、本年度春季大会を下記の要領で開催いたします。

記

日時：2025 年 5 月 17 日（土）13:00-17:05

場所：早稲田大学戸山キャンパス 36 号館 3 階 382 教室（キャンパスマップは[ココ](#)）

内容

- | | |
|--|------------------|
| | 総合司会：柳澤 明（早稲田大学） |
| 開会の辞（会長：松川 節） | (13:00-13:05) |
| 来賓祝辞〔未定〕 | (13:05-13:15) |
| 総会 | (13:15-13:30) |
| 駐日モンゴル国特命全権大使「大使賞」授賞式 | (13:30-13:45) |
| 第 1 部 講演 1 | 司会：村岡 倫（龍谷大学） |
| チンゲル（青格力）（中国社会科学院古代史研究所研究員（教授）） | |
| 「大興安嶺における古代岩壁銘文調査研究の進展」 | (13:45-14:25) |
| 第 2 部 研究発表 | 司会：柳澤 明（早稲田大学） |
| 1. 薩出日拉图（内蒙古師範大学民族学人類学学院講師） | |
| 「部族をもって牧地を与える」から旗界画定まで—乾隆初期の伊克昭盟における旗界画定の歴史記録— | (14:25-14:50) |
| 休憩 | (14:50-15:10) |
| | 司会：広川 佐保（新潟大学） |
| 2. 包 明珠（北海道大学大学院 国際広報メディア・観光学院修士課程） | |
| 「『フフ・トグ（青旗）』から見る宣伝の特性—読者寄稿表を中心に—」 | (15:10-15:35) |
| | 司会：中嶋 善輝（大阪大学） |
| 3. 福田 真理子（東京外国語大学大学院修士課程） | |
| 「モンゴル語における方向格と共起する動詞」 | (15:35-16:00) |
| 4. 山田 洋平（東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授） | |
| 「従来のモンゴル語教材等における「複数形」の扱い」 | (16:00-16:25) |
| 第 3 部 講演 2 | 司会：白石 典之（新潟大学） |
| 牟田口 章人（帝塚山大学付属博物館特別研究員） | |
| 「和泉久保惣美術館蔵・遼代馬具の復元的考察」 | (16:25-17:00) |
| 閉会の辞（副会長：児玉 香菜子） | (17:00-17:05) |

◎懇親会のご案内

時間：18:00-20:00

料金：参加費 6000 円（大学院生は 4000 円）

※当日徴収します。釣り銭不要でご用意いただければ幸いです。

会場：早稲田大学生協戸山カフェテリア（戸山キャンパス 38 号館 1 階）

（TEL：03-5273-8101）